

事業所名

こどもデイサービスこころ（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

令和 6 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念		『ゆいまーる』の精神。人と人との結びつきを大切に、助け合う心を常に持ち、利用者・スタッフの幸福を追求すると同時に地域の社会福祉の向上に貢献する。					
支援方針		○お友達や職員との関わりの中で、一緒に遊ぶ楽しさや思いやりの心を学びます。○食事、排泄などの支援を行い日常生活能力の向上に努めます。○季節に応じた行事やリズム遊び創作活動などを行うことにより豊かな表情を育みます。○土曜日は職員と子ども達で昼食を作ります。○学校の宿題やその他学習面の支援を行います。○支援計画に基づき、個別のプログラムを継続します。					
営業時間	平日（長期休暇含む）	10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
営業時間	土曜日（長期休暇含む）	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作の習得 健康的な生活リズムを身に着けるサポート（維持・改善）、睡眠、食事、入浴、排泄 定期的な心身の把握（毎日の観察・面談・個別活動） 身だしなみの整え方 危機認知スキルの向上（疑似体験・映像DVD・SST） 食育（じゃが芋堀・昼食作り・おやつ作り） 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚の特性への対応（特性に応じた感覚の導入、触覚、固有覚、前庭覚を特に意識した運動や制作） リズム遊び、感覚教材、散歩・ウォーキング、季節の制作、いろいろな道具の使い方 姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上（職員による集団・個別療育） サーキット運動等 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での活動や遊びの中で、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する） こだわりや偏食に対応する 空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化） 季節の変化への興味などの完成形成のための散歩、天気気温、日付の把握と確認による感覚、数の認知形成 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や場面にあった言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 読み、書きに対する学習支援 コミュニケーション手段の活用（SST、発表する機械の提供、ロールプレイ） 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団、集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ 社会体験や地域交流の場を設ける 自己理解、他者理解への支援（SST、社会体験、個別療育） 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じてお子様の発達状況や支援のニーズの確認 お子様との関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りごとに寄り添い、相談や援助を行う。 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行先との調整、相談援助、連携 学童クラブ等との交流、地域交流の機会を提供することで、集団への参加、適応する力を養う 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 学校や併用利用先との情報共有 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 職員の各種勉強会や研修への参加 虐待防止・身体拘束適正化・生産性向上委員会の実施 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事（夏祭り、ハロウィン、クリスマス等） 季節ごとの創作活動・体験学習・買い物学習・レクリエーションの実施 誕生会、ピクニック、夏の水遊び 						

事業所名

こどもデイサービスこころ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和 6 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念		『ゆいまーる』の精神。人と人との結びつきを大切に、助け合う心を常に持ち、利用者・スタッフの幸福を追求すると同時に地域の社会福祉の向上に貢献する。					
支援方針		○小学校入学前の未就学児を対象に、日常生活における基本的動作や知識技術を習得し、集団生活に適応できるように支援します。○同学年のお友達や年上の児童、職員との関わりの中で、一緒に遊ぶ楽しさや思いやりの心を学びます。○食事、排泄などの支援を行い日常生活能力の向上に努めます。○季節に応じた行事やリズム遊び創作活動などを行うことにより豊かな表情を育みます。○土曜日は職員と子ども達で昼食を作ります。○就学前の読み書き等、その他学習面の支援を行います。○支援計画に基づき、個別のプログラムを継続します。					
営業時間	平日（長期休暇含む）	10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
営業時間	土曜日（長期休暇含む）	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作の習得 健康的な生活リズムを身に着けるサポート（維持・改善）、睡眠、食事、入浴、排泄 身だしなみの整え方 危機認知スキルの向上（疑似体験・映像DVD・SST） 定期的な心身の把握（毎日の観察・面談・個別活動） 食育（じゃが芋堀・昼食作り・おやつ作り） 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚の特性への対応（特性に応じた感覚の導入、指先のトレーニング、触覚、固有覚、前庭覚を特に意識した運動や制作）音楽に合わせて身体を動かすリズム遊びや運動、感覚教材、散歩・ウォーキング、季節の制作、いろいろな道具の使い方等 姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上（職員による集団・個別療育）サーキット運動等 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での活動や遊びの中で、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する） わりや偏食に対応する 空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化） 季節の変化への興味などの完成形成のための散歩、天気気温、日付の把握と確認による感覚、数の認知形成 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や場面にあった言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 読み、書きに対する学習支援 コミュニケーション手段の活用（SST、発表する機械の提供、ロールプレイ） 朝の会、帰りの会、お誕生会等で自分の気持ちを言葉に出しての言語表現、受容 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団、集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ 社会体験や地域交流の場を設ける 自己理解、他者理解への支援（SST、社会体験、個別療育） 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じてお子様の発達状況や支援のニーズの確認 お子様との関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りごとに寄り添い、相談や援助を行う。 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行先との調整、相談援助、連携 学童クラブ等との交流、地域交流の機会を提供することで、集団への参加、適応する力を養う 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 園や併用利用先との情報共有 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 職員の各種勉強会や研修への参加 虐待防止、身体拘束適正化、生産性向上委員会の実施 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事（夏祭り、ハロウィン、クリスマス等） 季節ごとの創作活動・体験学習、買い物学習、レクレーションの実施 誕生会、ピクニック、夏の水遊び 						